

## 令和7年度 磐田市魅力産業支援会議 内容及び会議録

1 日 時 令和8年2月18日（水） 10時00分～12時00分

2 場 所 磐田市役所 本庁舎4階大会議室

3 出席者 磐田市魅力産業支援会議委員 8名  
事務局（産業政策課）

### 4 内容

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 議題① 磐田市経済産業振興プランのローリングについて

(4) 議題② 令和7年度磐田市企業実態調査の報告について

(5) 議題③ 今後のスケジュールについて

(6) その他

(7) 閉会

### 5 意見等

#### 議題① 磐田市経済産業振興プランのローリングについて

##### 基本目標1：今を革新し、新たな価値を生む 市内産業の競争力強化と経営革新の促進

委員・数値目標である経済活動別市内総生産は、大企業の業績が大きく影響すると考えられるが、市内企業の大多数は中小零細企業である。  
市の支援としては、大企業とその他中小企業のどちらに比重を置いているのか。

事務局・市の支援としては、中小企業のチャレンジを応援することが大前提と考えており、各種補助金や、マッチング等の伴走支援を行っている。但し、大企業に対しても、財政的な支援ではないが、スタートアップとの連携等、伴走支援を行っている。

委員・過去に「販路開拓支援補助金」を活用させていただいたことがある。中小企業が展示会出展を検討する際、費用対効果を直前まで考えたりと迷う部分があると思うが、その際に、申請が間に合わなかったり、枠が埋まってしまうことも

あるため、年度を超えた申請や、枠の拡大等について検討いただきたい。

事務局・申請手続については、展示会出展は申込期限が早かったり、出展前に支払いが発生することが多いため、他の補助金と違い、交付決定前に出展料を支払い済みの案件も交付対象にする等、一定の配慮をしている。枠の拡大については限られた予算の中で実施している事業であるため、今後の参考とさせていただくが、出展時のより良いPR方法等の販路開拓支援については、専門家相談等、サポートしている。

委員・グリーンスローモビリティの今後の展開について、今後ヤマハ発動機が運行管理等、全体管理して進めて行くのか、状況を伺いたい。

・バンコクでの産業交流については私も別途、繋がりのある機関等があるので、今後の展開をお伺いさせていただき、貴市のお力になればと思っている。

事務局・グリーンスローモビリティについては現在、ヤマハ発動機が運行管理者となつて、従業員様向けに福利厚生の一環で実施している。今後の展開については、交通事業者や地域の企業、住民等の関係者との意見交換を継続しながら検討していきたいと考えている。

・バンコクについて、現地商談会では日本の食文化への関心が高く、技術交流についても、農業の省力化等、スマート農業の連携可能性について意見交換ができた。今後もタイとの継続的な連携を進める中で、タイ政府とのMOU締結に向けて準備を進めているところである。

## **基本目標2：新たなビジネスが価値を生む**

### **新たな成長分野の展開と企業立地推進**

委員・IC周辺の工業用地開発について、各ICの車両の利用状況が分かる資料等を公表しているデータ等はあるか。今後の事業検討の参考になるのではないか。

事務局・磐田市統計書でIC別交通量を公表している。今後の事業検討の参考にしていく。

委員・企業誘致後に、交通等のインフラ整備も進めて行くことで、企業の進出意向も高まると感じるので、検討いただきたい。

事務局・開発可能性調査を進める中で、環境整備を進めながらトータル的に付加価値の高い工業団地整備を進めて行きたい。貴重なご意見、参考にさせていただく。

委員・再雇用等の高齢の従業員が通勤の足が無く、困るケースも多い。  
ぜひご検討いただければ。

事務局・市全体の交通政策の中で検討させていただく。

委員・公共交通について、バス停の設置は200mを超えると利用意欲が低下するとい  
うことが分かっている。  
・群馬県高崎市が地域で通勤モビリティを地域で購入し、共同利用する取組みが  
成功している。磐田市でも検討されると良いかと。

### **基本目標3：新たなプレーヤーが価値を生む 創業促進とスタートアップ企業の育成**

委員・創業支援について、市外などから新たに来る方については、ただ事務的な支援  
を行うだけではなく、企業間連携や交流の場を紹介するなどの支援があると良  
いと考えているがいかがか。

事務局・本市が今年度から取り組んでいるいわた産業イノベーション事業では、配置し  
ている産業イノベーションマネージャーによる市外スタートアップ企業とのマ  
ッチングによる課題解決に取り組んでいる。令和7年12月に実施したキック  
オフイベントでは、市内製造業・農業・域外スタートアップ企業・各支援機  
関・金融機関が交流を図ることができた。この交流が単発で終わらないよう、  
産業イノベーションマネージャーに窓口役を担っていただき、今後のイベント  
企画や、マッチングの推進を進めている。  
また、現在民間主導で若手経営者及びその候補者が交流を深め、ネットワーク  
を構築していく仕組みづくり出来上がりつつある。その動きを案内しながら、  
産業振興活性化を図っていきたい。

### **基本目標4：人財が新たな価値を生む 人材確保の支援と人材活用の促進**

委員・弊社では、女性社員が育休取得後、100%職場復帰してくれている。その多くの  
社員が短時間勤務で働いている。弊社内で考えるとその考えが精いっぱいだ  
が、継続して働ける環境を継続していきたいと考えている。  
子育てをしながら働きたいという需要に対し、もっとフレキシブルに対応でき  
るよう検討していきたいと考えているが、また良いアイデア等あれば、教えて  
いただきたい。

事務局・多様な働き方の一つとしてはパートタイマーがあるが、パートタイマー就職相談面接会には多くの女性就職希望者が参加いただいている。また、今年度開催した女性就労支援セミナーでは20名以上に参加いただいた。  
現在、令和8年度に向けて、既存事業の就活サポーター制度を活かした女性に特化したセミナーを検討している。

委員・高校生の人材獲得については親というハードルがある。  
高校・大学へ行って採用活動をしなくても効果は薄い。高校生に限らず、大学生や中途採用者の企業訪問を企画し、求職者が企業に行くことで企業側も良い刺激を得られるかと。インターンシップ等で作業をさせるよりもまずは現場を見せることが重要。

事務局・現在市としては、高校生と企業を結ぶ、次代の地域産業を担う人材育成事業や産業振興フェア in いわたでの企業ブース訪問を実施しており、今年度も40人以上に参加いただき盛況だった。企業訪問については、まだ実施できていないため、今後検討していきたい。

委員・ハローワークでは求職者支援を行っているが、企業見学会等もご要望が多ければ声掛け等支援していきたいと思っている。最近のハローワークの状況としては、求職者は減少傾向にある。一方、人手不足なので求人情報は多く、有効求人倍率（実数値）は、令和7年12月で0.78倍となっている。11月までは0.68倍と非常に低迷していたため、多少の改善傾向は見られる。

#### **基本目標5：人が集い、新たな価値を生む 人を呼び込む観光・商業の振興**

委員・ジュビロードで開催されている軽トラ市 いわた☆駅前楽市について、弊社も出展させていただき、市内企業と連携したグッズの販路開拓できている。その際、グッズのPRだけでなく、弊社を知っていただいたことで、新たなビジネス展開に繋がっている。今後は商店に限らず、弊社のような工業分野の企業等が自ら考え、B to BからB to Cへ展開していくための支援をしていただけると良いかと。

事務局・本イベントは駅前に賑わい創出を目的に、2011年から定期的で開催している。そんな中で、開催のマンネリ化という課題解決のため、チャレンジショップの枠組みや高校生による物販等、様々なイベントを絡めながら実施している。市はイベントの開催支援のため事業周知等で連携しているが、ご提案いただいたような工業系の企業によるPRについては、実行委員会に報告し、今後検討させていただく。

## 議題② 令和7年度磐田市企業実態調査の報告について

事務局・時間の都合もあるため、速報値という形でご報告させていただいた。  
確定版は令和7年度中に市のホームページに掲載する予定のため、委員の皆様へは改めてご報告させていただく。  
現在の経済産業振興プランは令和4年度から令和8年度までの5年間の計画であり、令和9年度から令和12年度までの4年間は新たなプランを策定する予定である。令和8年度にプランを検討していく中で、本調査結果を基礎資料としていきたいと考えている。

## 議題③ 今後のスケジュールについて

事務局・例年、現プランのローリングということで年1回開催させていただいているが、令和8年度は新プラン策定に向け、市で作成した素案に対して、委員の皆様にご意見をいただくため複数回の開催を予定している。  
年度当初にスケジュールをお示しできるよう、正副委員長と調整していきたいと考えている。

委員・令和8年度はプラン策定の内容になるので、委員の欠席で偏った意見にならないように、各委員が参加できる日程を早いタイミングでお示しいただきたい。

事務局・皆様のご都合を考慮しながら、日程調整させていただく。

## その他全体を通しての意見

委員・今年度、Iwata Seaside Dream Fes 2025を開催し、大々的に市のアピールができ、磐田駅前ではドリームマルシェ in ジュビロードを開催する等、連携した取り組みができたと思うが、市としてはどのように評価しているか。  
・市内小中学生の登校拒否が毎年500人程度いると聞いている。市の魅力産業を考える中で、どのようにフォローしていくのか、またスポーツ選手のセカンドキャリア支援についても上手く支援していく中で、市の魅力産業創出につながると考えるが、ご意見伺いたい。  
・現在レモンの産地化等を進めているが、ただ全国的な流行を追うのではなく、磐田市の魅力について大きな枠組みで捉えた上で、各論を考えていただきたい。

事務局・Iwata Seaside Dream Fes 2025については、市の主体事業では無いもののふるさと納税制度を活用いただいたり、様々な関係者が連携し、駅前の賑わいや子どもたちへの環境教育を含め、通年でイベントだったため、評価できると思

っている。

- ・その他ご意見いただいた内容についても、次期プランの中で方向性を検討していきたいと考えている。
- ・プロスポーツ選手について、ラグビーの選手がセカンドキャリアで海老芋農家として地域貢献しているといった事例もあるので、今後は農業だけでなく、産業や地域の賑わいづくりに繋がるような取組みを進めていきたい。
- ・レモンの産地化については、今後ブランディングが重要になると考えており、関係者を集めながら検討していきたいと考えており、販路開拓とうまく並行させながら大きなビジョンを打ち出し、取り組んでいきたいと考えている。

委員・ぜひ磐田市は一步先の最先端の取組みを推進していただきたい。

- 委員・今回、ご意見で出た大学、高校の企業訪問型の採用活用について、来年度他自治体で、金融系、工業系といった各分野で実施する企画が出ており関わる予定でいる。効果についてまた共有させていただきながら、新プランの検討に活かしていけると良いかと考えている。
- ・タイ等の海外展開についても、連携している事業があるので、同様に共有させていただく。

事務局・本日いただいたご意見等を参考にしながら、新プラン策定を進めていきたいと思う。